

水中や湿潤面の塗装・接着・充填を可能にします

アグアボンド[®] aqua bond

水中硬化型エポキシ樹脂

ペイント・ゲル

MIC
mol chemical

モルケミカル株式会社

管理時代にふさわしい防水材料です

水中硬化型二液性エポキシ樹脂

アクアポンド

【優れた特性は施工技術の拡大と効果的な
防水技術を創造します。】

アクアポンドは「水」を貯水したり、通水したりする構造物（受水槽・雑排水槽・プール・上下水道・各種水処理プラント・ダム・用水路など）や、風呂場・厨房などの水場の防水に効果的なエポキシ材料であります。

一般的に、各種樹脂による防水施工は、施工箇所を乾燥することが前提になります。

しかし、施工時間に余裕がないときや、施工箇所をどうしても乾燥することが不可能な場合があります。

アクアポンドは水中や湿潤面での施工が可能な材料として開発された二液性エポキシ材料で、乾燥状態と同じように、水中や湿潤面での作業性・接着性・耐候性・防水性に優れています。

① 水中や湿潤面での作業性

アクアポンドは乾いた所は勿論、水中や湿潤面でも直接施工することができます。したがって、水を排除したり、施工箇所を乾燥することが不必要でありますから、施工の前作業に莫大な費用と時間をかける必要がなく、建設と補修に関しての計画と実施に大きな変化をもたらせます。

② 防水性・耐候性に優れています

アクアポンドの硬化塗膜は吸水率・蒸気透過率にすぐれ、また、促進耐候試験においても、ふくれ・はがれ・ひびわれなどの塗膜の損傷がありません。

③ 汚染や毒性の心配がありません

アクアポンドのコンクリート・鉄・木材・石材・プラスチック（一部を除く）などの材料への塗装・接着・充填が可能です。

また、各種の樹脂塗料と併用して複合材料として、様々なニーズに対応することが可能です。

湿潤面作業



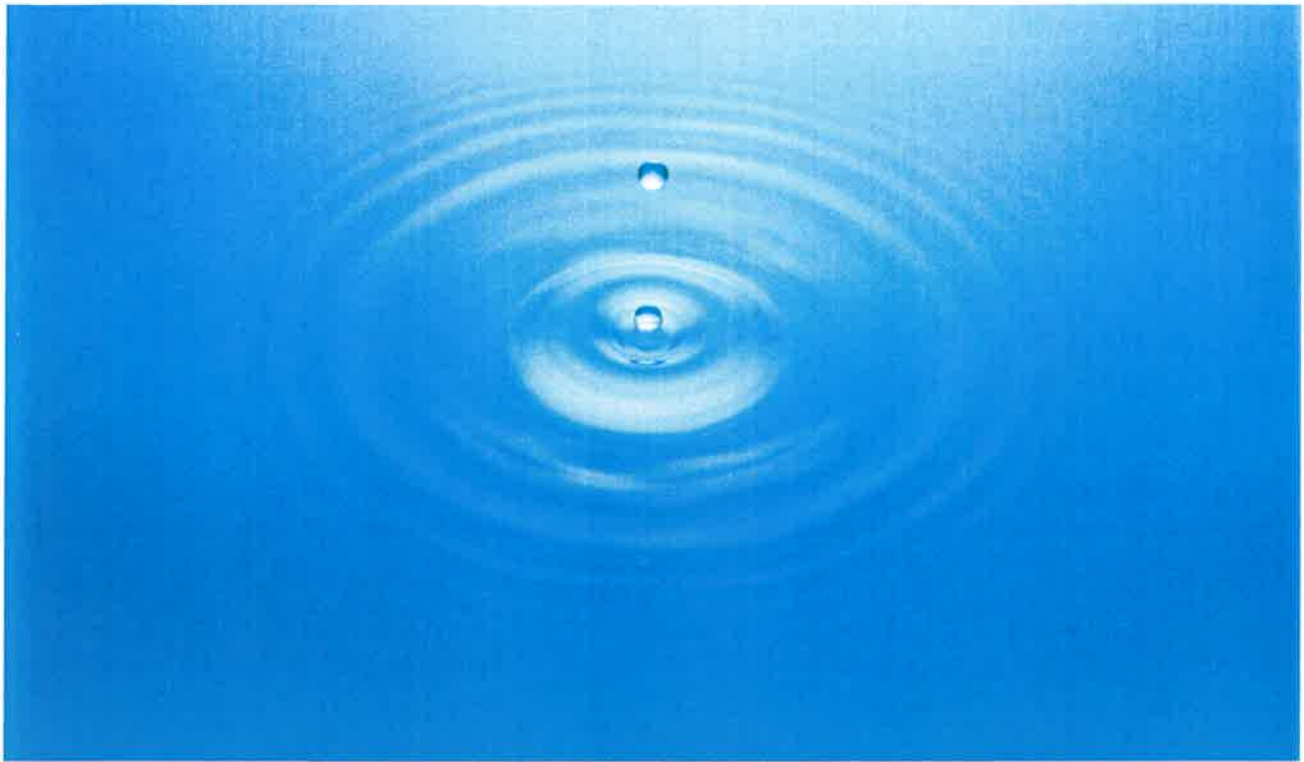
水中作業



アクアボンド物性表

試験綱目	種別	標準品				試験方法
		ペイントライニング用		ゲル充填用		
		主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	
規 模	水中硬化型	水中硬化型				
種 類	変性エポキシ樹脂	変性エポキシ樹脂				
外 観	白色	淡黄色	白色	淡黄色		
硬化物色相	白色	白色				
溶剤の有無	無溶剤	無溶剤				
混合割合	100	75	100	75		
比 重	1.6	1.1	1.6	1.1		
粘度(PS・25℃)	2400	1700	練状	練状	回転粘度計	
引 火 点	193	152	-	-	JIS K2265	
可使用時間(25℃)	30~40分		30~40分			
指触時間(25℃)	6時間		6時間			
引張り強さKgf/cm ²	156		148		JIS K7113	
圧縮強さKgf/cm ²	377		385		JIS K6911 519	
硬さ shoreA	95		103			
shoreB	65		68			
鉛筆引っかき試験	9H以上		9H以上		JIS K5400 614	
伸 び %	3.8		2.1			
接着剪断	乾燥面	149	152		JIS K6850 冷間圧延銅板 一種 5mm/mm	
Kgf/cm ²	湿潤面	146	145			
付着強さ	乾燥面	モルタル破断	モルタル破断		JIS A6910	
水蒸気透過率	0.015		0.016		JIS Z0208	
吸 水 率	0.09		-		JIS K7209	
熱膨張率 1 / °C	6.37×10 ⁻⁵		-			
塩水噴霧試験	360HR 異常なし		360HR 異常なし		JIS K5400 7.8	
耐 候 試 験	500HR 異常なし		500HR 異常なし		JIS A1415 に準拠	
冷 熱 試 験 (鉄板)	あわ、ふくれ、 われ、はがれ、 つやの変化、粘着 なし		あわ、ふくれ、 われ、はがれ、 つやの変化、粘着 なし		JIS K5400 7.1に準拠 80℃1HR- 20℃30MIN- 20℃1HR- 20℃30MIN-	

日本水道協会規格 JWWAK-115規格品
 日本水道協会規格 JWWAK-135規格品
 日本水道協会規格 JWWAK-K143-2004規格品
 食品衛生法57年厚生省告示第20号規格品



【さまざまなアイデアが画期的な施工技術を創造します。】

施工例

対 象	材 質	目 的	施工方法	プライマー
飲料水槽 上下水道施設	コンクリート製	防水	全面ライニング 部分補修	不要
飲料水槽	鋼板製	防錆	全面ライニング 部分補修	防錆塗料
飲料水槽	FRP 製	防水	部分補修	要
プール	コンクリート製	防水	全面ライニング 部分補修	不要
	FRP 製	防水	全面ライニング 部分補修	要
	タイル	接着	—	不要
ダム・用水路	コンクリート製	防水	全面ライニング 部分補修	不要

※1.その他、蓄熱水槽の内部防水、鑑賞用・養殖用水槽の防水等の実績があります。

※2.切り付け部・パネル式FRP水槽の接続部の補修には副資材として不織布を使用することがあります。

【熟練の施工が素材の防水機能を発揮します。】

標準施工仕様

下地処理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施工面の付着物・汚れ・油・劣化部分・錆（鉄）を高圧洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去して下さい。 2. コンクリート構造物でクラックがある場合はVカットしてアクアボンドゲルやモルタルを充填して下さい。 3. 止水が必要な場合は、急結セメントで完全に止水してから塗装して下さい。 4. 施工面に凹凸がある場合は、アクアボンドやモルタルを充填し施工面を平滑にしてから施工して下さい。
混 合	<ol style="list-style-type: none"> 1. 混合率 主 剤：硬化剤＝100：75（重量） 2. 混合時間 約2分間以上 3. 混合量 可使時間は約40分（25℃）ですから、それ以内に使い切れる量にして下さい。 4. 混合には塗料攪拌用のミキサーを使用すると便利です。
塗 装	<ol style="list-style-type: none"> 1. 塗装方法 ゴムベラ、金ゴテでシゴくようにして塗布して下さい。 2. 塗装回数 1～2回（2回目の塗装は1回目の塗装が硬化しない内に追いかけて施工して下さい。） 3. 塗膜厚 1mm（平均） 4. 硬化時間 4～6時間（20℃～25℃） 5. 使用量 1.5kg/1m²
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●被着体の材質によっては、プライマーを必要とする場合もあります。 ●冬場などの環境温度が低い場合は、硬化がおくれますので、硬化を早めたい場合はアクアボンド専用の硬化促進剤をご使用下さい。 ●また、温度が低い場合は増粘しますので使用しずらくなります。その場合は材料を暖めるか、アクアボンド専用の希釈剤をご使用下さい。 ただし、希釈剤を使用する場合は硬化がおくれます。 ●硬化促進剤、希釈剤などの使用量は3%以内として下さい。 ●施工に使用した器具類はアセトンなどの溶剤でよく洗浄して下さい。

アクアボンド品種

品 名	容 量	硬化物色相
ペイント標準品	4kgセット	白・青・灰色
	※20kgセット	
ゲル標準品	4kgセット	白・青・灰色
硬化促進剤	2kg缶×5缶/1C	—
希 釈 剤	2kg缶×5缶/1C	—

※20kgセットは在庫がない場合があります。



4kgセット



20kgセット

白

（社）日本塗料工業会2001年A版AN-95の近似色

青

（社）日本塗料工業会2001年A版A69-70Lの近似色

グレー

（社）日本塗料工業会2001年A版AN-65の近似色

- ※1.白は標準です。
- ※2.ブルー、グレーは作業時に所定量のトナーを添加して着色して下さい。
- ※3.その他の色についてはお問い合わせ下さい。



モルケミカル株式会社

〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-9-8-205

TEL 03(3634)3961

FAX 03(3634)3962

URL:<http://www.mol-chemical.co.jp/>